

# ほけんだより 5月

おうちの人  
よんでね★

玉村町立南小学校  
平成30年4月27日

## 5月の保健目標

健康診断で見つかった病気を治そう。

帽子をかぶろう。

春なのに、夏のように暑い日もあれば、長そでを着ていても寒いな〜と思うような日もあって、毎日着る服に悩みますね。

新しい学年になって、そろそろ一ヶ月たちます。疲れがたまっている時期ですし、気温の差が激しいので、体調をくずす人も増えてきました。こんなときは、早めに寝て、体を休ませてあげましょう。

南小でインフルエンザの人はいませんが、群馬県、玉村町では、A型インフルエンザが流行っています。連休中、人混みへ出かける機会もあるかもしれませんので、そういうときには特に気を付けてくださいね。

## 歯科検診の結果を配りました

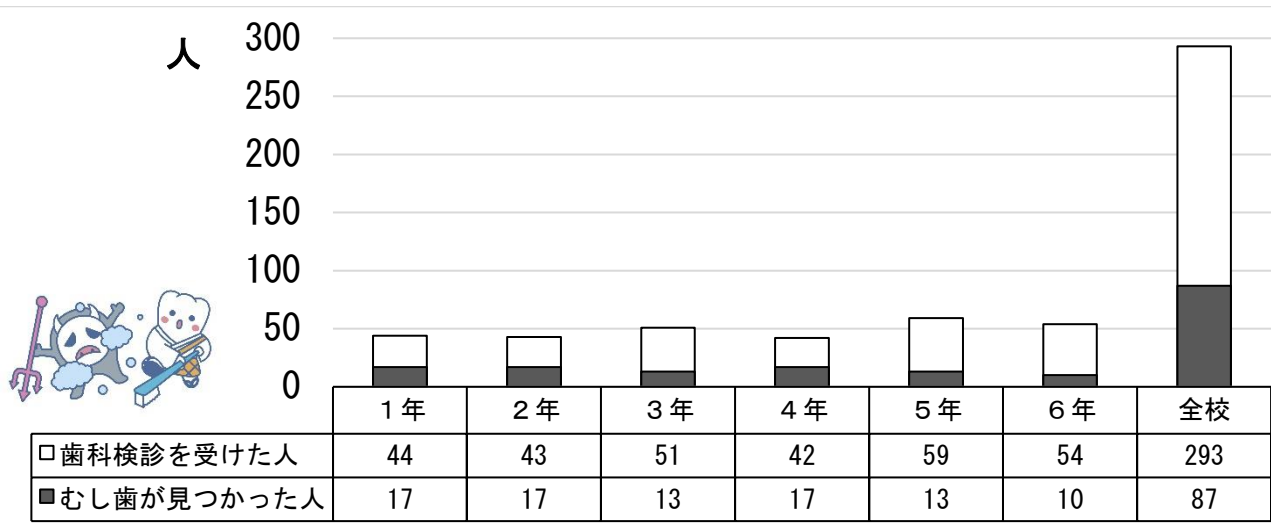
4/18(水)、4/24(火)に歯科検診をしました。ちょっとドキドキしながら自分の番を待つ姿が印象的でした。歯科検診の結果を、全員の人に配ったので、おうちの人といっしょに読んでください。

「どの歯がむし歯なのか知りたい」「むし歯が何本あるのか知りたい」「歯肉炎って何？」など、気になることがある人は、保健室に聞きに来てくださいね。

「受診をおすすめします」のところに○がついていた人は、早めに歯医者さんへ行って、よく調べてもらいましょう。



## むし歯が見つかった人は、何人いたかな？



(保護者の方へ)



## 沖縄県・愛知県を中心に、麻しんが流行しています。

連休中、遠出するご家族も多いかと思えます。この機会に、ご家族の予防接種歴をご確認ください。



### 麻しんとは



麻しんは一般に「はしか」とよばれていますが、正式には麻しん(ましん)といいます。麻しんは、麻しん患者のせきやくしゃみ、会話で発生するしぶきの中に含まれる麻しんウイルスを他者が吸い込むことによって感染が成立します。麻しんの感染力は強く、患者のせきやくしゃみを直接浴びた場合だけでなく、空気中を漂うウイルス粒子を吸い込むだけでも感染が成立します。



### 麻しんの症状

潜伏期はおよそ10~12日間



潜伏期の後 38℃台の発熱、せき、のどの痛み、鼻水、めやに、目が赤くなる、体がだるいといった症状が出はじめ、症状は4~5日間続きます。この時期をカタル期と呼びますが、この時期の症状は麻しんに特徴的なものではありませんので、かぜと診断されることもよくあります。麻しんは、その経過中で発熱する1日前くらいから他者への感染力が生じるといわれていますので、知らないうちに多くの人に麻しんをうつしてしまうことになりかねません。

**このような症状がある場合、公共の交通機関を使用して移動することは絶対に避けてください。**



### 麻しんの合併症



麻しんは、合併症(肺炎や脳炎、中耳炎、心筋炎)を起こす頻度が高いです。肺炎と脳炎が麻しんによる2大死因といわれています。医療が発達した現代でも、麻しんに対する特効薬はなく、対症療法をしながら治癒を待つしかありません。麻しんを発症するとおよそ1,000人に1人は命を落とすといわれています。

昭和50年代には、毎年100人弱の人が麻しんで命を落としていました。脳炎になってしまうと約15%が死亡し、命をとりとめても、20~40%くらいの人に重い後遺症が残ってしまうと考えられています。

また、麻しんでは、感染後数年から10年後におきる合併症もあります。麻しん患者のおよそ数万人に1人の割合で、極めて重症の脳炎(亜急性硬化性全脳炎(SSPE))という疾患が発症することも知られています。また、SSPEは1歳未満で麻しんにかかった場合は1,000人に1人以上の割合で発症するとの報告もあります。

**わたしはワクチン接種必要?**

すでにはしかにかかったことがある人やワクチンを2回接種した人は免疫があるのでワクチン接種は不要

**1976年以前生まれの人** **不要**  
定期接種はなかったが、自然感染して免疫を持っている可能性がある  
(※40代は接種検討を)

**1977年~1990年生まれの人** **接種を**  
1回しか接種していないため免疫が低い可能性がある

**1991年以降生まれの人**

6カ月~1歳未満 **希望すればワクチン助成対象**

1歳 **定期接種対象(1回目)**

2歳~5歳   
1回接種した → **不要**  
接種していない → **接種を**

2012年4月2日~13年4月1日生まれ **定期接種対象(2回目)**

小学生以上   
2回接種した → **不要**  
1回接種した → **接種を**  
接種していない → **接種を**

(沖縄県保健医療部、那覇市保健所などの情報を基に作成)

(琉球新報 掲載記事より)